

△支那の戦況と戦局の日本

長國の戦況は、六月九日、六月十日、六月十一日、六月十二日、六月十三日、六月十四日、六月十五日、六月十六日、六月十七日、六月十八日、六月十九日、六月二十日、六月二十一日、六月二十二日、六月二十三日、六月二十四日、六月二十五日、六月二十六日、六月二十七日、六月二十八日、六月二十九日、六月三十日、七月一日、七月二日、七月三日、七月四日、七月五日、七月六日、七月七日、七月八日、七月九日、七月十日、七月十一日、七月十二日、七月十三日、七月十四日、七月十五日、七月十六日、七月十七日、七月十八日、七月十九日、七月二十日、七月二十一日、七月二十二日、七月二十三日、七月二十四日、七月二十五日、七月二十六日、七月二十七日、七月二十八日、七月二十九日、七月三十日、八月一日、八月二日、八月三日、八月四日、八月五日、八月六日、八月七日、八月八日、八月九日、八月十日、八月十一日、八月十二日、八月十三日、八月十四日、八月十五日、八月十六日、八月十七日、八月十八日、八月十九日、八月二十日、八月二十一日、八月二十二日、八月二十三日、八月二十四日、八月二十五日、八月二十六日、八月二十七日、八月二十八日、八月二十九日、八月三十日、九月一日、九月二日、九月三日、九月四日、九月五日、九月六日、九月七日、九月八日、九月九日、九月十日、九月十一日、九月十二日、九月十三日、九月十四日、九月十五日、九月十六日、九月十七日、九月十八日、九月十九日、九月二十日、九月二十一日、九月二十二日、九月二十三日、九月二十四日、九月二十五日、九月二十六日、九月二十七日、九月二十八日、九月二十九日、九月三十日、十月一日、十月二日、十月三日、十月四日、十月五日、十月六日、十月七日、十月八日、十月九日、十月十日、十月十一日、十月十二日、十月十三日、十月十四日、十月十五日、十月十六日、十月十七日、十月十八日、十月十九日、十月二十日、十月二十一日、十月二十二日、十月二十三日、十月二十四日、十月二十五日、十月二十六日、十月二十七日、十月二十八日、十月二十九日、十月三十日、十一月一日、十一月二日、十一月三日、十一月四日、十一月五日、十一月六日、十一月七日、十一月八日、十一月九日、十一月十日、十一月十一日、十一月十二日、十一月十三日、十一月十四日、十一月十五日、十一月十六日、十一月十七日、十一月十八日、十一月十九日、十一月二十日、十一月二十一日、十一月二十二日、十一月二十三日、十一月二十四日、十一月二十五日、十一月二十六日、十一月二十七日、十一月二十八日、十一月二十九日、十一月三十日、十二月一日、十二月二日、十二月三日、十二月四日、十二月五日、十二月六日、十二月七日、十二月八日、十二月九日、十二月十日、十二月十一日、十二月十二日、十二月十三日、十二月十四日、十二月十五日、十二月十六日、十二月十七日、十二月十八日、十二月十九日、十二月二十日、十二月二十一日、十二月二十二日、十二月二十三日、十二月二十四日、十二月二十五日、十二月二十六日、十二月二十七日、十二月二十八日、十二月二十九日、十二月三十日、

ブルツクリン・デイリー・イーグル紙)

△日本ノ經濟統制強化

日本政府ハ臨時物資調整局ヲ設立シ、之ニ依テ時局ニ緊急必要ナ
物資ノ需給及物價ノ調整ヲ圖ツテキル様テアルカ、多數國民ノ出
征ニ伴フ労働者ノ拂底及軍需工業労働者ノ需要増加等ニ依ル、一
般物資ノ生産力低下、又政府ノ巨額出資ニ伴フ購買力ノ増加ニ依
テ、一般物資ニ對スル需要標準力高クナリ、且通貨ノ流通及政府
負債ノ間斷ナキ増加ニ依テ、物價騰貴ノ傾向ハ更ニ強マツテ行ク
様テアル。從テ日本政府ノ必死ノ努力カ物價騰貴ヲ防ケルカ否カ
ハ今ノ所解ラナイカ、此ノ極端ナ統制策ハ或程度迄ハ成功スルカ
モ知レナイト言ヘヤウ（六月九日ジャーナル・オヴ・コンマース
紙）

△「ボラー」「ノーリス」ノ聲明
六月九日華府發A。P。ハ、上院議員「ノーリス」及「ボラー」ハ
過日國務省ノ空爆反對聲明及嶺南大學爆撃ニ關聯シ、夫々左記ノ
聲明ヲシタト報シテ居ル。
一、過日國務省ノ空爆反對聲明ヲ效果ニスル爲、米國ノ軍需品ノ
對日輸出カ對支輸出ヨリ大キケレハ、日支兩國ニ對シ武器禁輸
ヲセヨ（「ノーリス」）
二、日本ハ諸般ノ事情ニ鑑ミ、今次戰爭ヲ一日モ早ク解決スル要
カアル。例ヘハ日本ノ財政ハ危機ニ頻シツツアルモノト信セラ
レル。非戦闘員ニ對スル空爆モ、日本ノ逼迫シム事情ニ基クモ
ノテアラウ。嶺南大學爆撃ニ關シテハ、日本ハ米國側ノ抗議ヲ
承認シ、損害ヲ賠償スルモノト信スル（「ボラー」）
△獨事顧問近ク歸國
六月十日漢口發組育「タイムス」紙「ダーデイン」特電ハ、鄭州
陥落ヲ報スルト共ニ、獨逸入軍事顧問ノ一行ハ未タ蔣介石カラ解